

# 風のひろば

July  
2020  
vol.16



COVID-19に対する  
本学の対応と  
今後活かす事

大学の今

新任教職員のご紹介

退職教員のご紹介

卒業生・在学生の声

〈2019年度学生表彰受賞者紹介〉

研究紹介





# COVID-19に対する本学の対応と今後を活かす事

大分県立看護科学大学 理事長・学長 村嶋 幸代

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)が世界中で猛威をふるい、正に、世界が一変してしまいました。亡くなられた多くの方々、心からお悔やみ申し上げます。

大分県立看護科学大学も、この感染症で多大なる影響を受けました。卒業式をはじめ、多くの行事を中止せざるを得ませんでした。その中で、感染防止に努めながら、学生の教育を受ける権利を守り、6月1日には対面授業再開に漕ぎ着けることができました。

保護者の皆様には、ご心配が大きかったと思います。学生・院生も種々の制約の中で、よく頑張ったと思います。また、この間、関係機関や県民の皆様から、多くのご協力をいただきました。心から御礼申し上げます。日々変化する状況の中で、全教職員と各種委員会も力を発揮しました。正に一丸となって乗り越えてきた感じがします。

一方で、COVID-19は授業の方法に変革をもたらし、今後にも大きな影響を及ぼします。世界中の人々が影響を受けた事柄について、現時点での本学の経験をまとめ、今後を活かす手がかりにしたいと思っています。

「新型コロナウイルス感染拡大防止に対する本学の対応(表1)」および、「危機管理対策本部」の組織図(図1)もご参照下さい。

COVID-19に対する本学の方針は、適宜、学長からのメッセージや各委員会からの注意喚起として発出しました。大きな方針は、以下の3つです。

**方針1** 感染防止に努め、学生・教職員から感染者を出さない。

**方針2** 細心の注意を払って授業を継続し、学生の学ぶ権利を保証する。

**方針3** 大変革期にあたり、学生・教職員自身が情報を得て自律的に行動すると共に、COVID-19と共存する世界を見据えて必要な準備をする。

## 1. 卒業式の中止と後期入試の実施

感染リスクを考えた時、本当に残念なことに、卒業式を中止せざるを得ませんでした。断腸の思いです。

卒業生主催の謝恩会に関しては、卒業生が自ら中止を決めました。3月2日に4年生の謝恩会担当から全教職員に、3月18日に予定されていた謝恩会の中止が伝えられました。「自分たちが、4月から看護職者として医療機関で働くことを考慮すると、私たちが媒介者になることだけは避けなければいけない」と、謝恩会担当全員で話し合っただけだということでした。学生達が、自分たちの役割を考慮して自主的に決めたこと、就職後に受持つ患者さんに対する責任感、倫理観が伝わってきて、誇らしく思いました。後期入試は、3月12日に種々の感染防止策をとって実施しました。

## 2. 学事暦をまもって授業を実施

本学の入学式は、毎年4月8日です。通常は、学部生80人と大学院生約30人を

一緒に行いますが、今年度は、学部生は午前中に3組に分け、院生は午後の実施しました。オンライン授業に対応するため、この日に各人にメールアドレスを付与し、学内のインターネット環境を使うことができるようにしました。

3月23日に立ち上げた危機管理対策本部の会議で、授業をどのようにするかを検討しました。Zoomによる同時双方向型の遠隔講義が提案されましたが、当初、多くの教員たちは、消極的に見えました。Zoomは初めて聞くツールで、オンラインで授業を行うことそのものが遠い世界でした。

流れが変わった契機は、4月1日の学長訓示で



オンライン授業の様子

す。これを30分間、Zoomによるオンラインで行いました。「明瞭な音声とパワーポイントによる資料説明

で、これなら大丈夫！」という感触を、多くの教員が共有したことにより、一気に流れが変わりました。

授業の開始時期を遅らせる大学も多くありましたが、学生の本分は勉強することであり、大学には、授業をする責任があります。3月下旬に学生のインターネット環境を調べたところ、大部分の学生は自宅でオンライン授業を受けられることが分かりました。それが難しい10人程の学生たちには、大学の指定された席でオンライン授業を受けてもらうことにしました。

Zoomを授業に用いるために、情報ネットワーク委員会から教員・学生(各学年)・院生への説明を丁寧に行い、また、各研究室でZoom担当者を決めました。この頃、文科省からも、「全ての講義をオンラインで行っても単位を与えることを認める」旨の通知が出ました。4月15日の第1回教育研究審議会で、「オンライン授業を正規の授業として認める」、「教員の在宅勤務を認める」ことを決議し、本学として、正式にオンライン授業ができる仕組みを整えました。

「4月5月は対面授業を実施しない」ことを入学式時点で明確にし、遠方の新入生は帰省できるようにしました。印刷の負担を軽減するために、1年生には印刷物を郵送し、図書館は、学生が自宅からでも図書を借り出せるようにしました。オンライン授業の開始後は、授業の工夫が教員数名から紹介され、また、FD/SD委員会も講演会を開催して、教員の技量向上に努めました。

### 3. 学生・教職員の感染防止と実習

学生および教職員の感染予防に関しては、まずは、注意喚起です。学生生活支援委員会が「新型コロナウイルス感染症に対する授業・学生生活について」を配布すると共に、体調管理表を作成して毎日検温をすること、無理して登校しないこと、休んだ場合には、後日、体調管理表に依って救済すること等をアナウンスしました。各学年の部屋を決め、使用可



表1 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する本学の対応

- 卒業式・修了式の中止**
  - 3月18日に予定していた卒業式・修了式を中止
  - 卒業生・修了生向けの学長メッセージや卒業生名簿等を郵送
- 後期大学入試について感染防止策を施して実施**
  - 入り口を1カ所に固定し、入室者全員に手指消毒を要請
  - 受験会場数を大幅に増やし、密集を回避するなどの措置を実施
- 危機管理対策本部を立ち上げ**
  - 3月23日に組織を立ち上げ（組織図参照）、課題の共有や対応方針を検討
- 入学式を学部は午前中、大学院は午後に分け、時間短縮のうえ実施**
  - 学部入学生は3グループに分けて、それぞれで入学許可と学長式辞を実施
- 本学関係者以外の立ち入りを制限**
  - 3月6日以降、大学図書館への一般利用者の入館を制限
  - 4月16日から大学校舎内への関係者以外の立ち入りを制限
- 遠隔会議システム Zoom を活用して、学事歴どおりに授業を開始**
  - 当分の間、原則として Zoom を活用した授業を全学年に実施（事前に教員、学生に講習会を実施）。※6月1日より、段階的に対面授業を再開
  - Wi-Fi 環境が整っていない学生には大学での受講を許可（使用教室の消毒体制を整備し、各自が使用前後に消毒）
  - 5、6月に予定されている実習を全て演習に振り替え、その演習についても可能な限りオンラインで実施
- 学生、教職員に対して授業、生活などの注意喚起を実施**
  - 感染リスクの高い場所・地域への出入りを回避すること、実習前2週間の行動調査を行う可能性があり、その結果によっては実習を許可しない事態もありうることを注意喚起
  - 体調管理表（体温、体調等の記録）を毎日記録するよう要請
- 後援会総会、若葉祭（学園祭）、ホームカミングデイ等全学的な行事の中止**
  - 学内での「3つの密」が想定される諸行事を中止又は延期
- 政府の支援策等を活用した学生支援策を展開**
  - 授業料減免措置を継続して実施（日本学生支援機構の事業を活用）
  - 学生支援緊急給付金の募集を開始（5月26日）

能な机にはシールを貼りました。消毒用品を各部屋に揃え、各自が使用前後に消毒し、液の補充等も行うようにしました。自粛生活が長引く中では、心の健康維持についても資料配布しました。

オンライン授業や生活（経済）面での困りごとは、5月上旬に調査しました。アルバイトの減少、印刷代がかかること等々の訴えがありました。政府の「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』が出ることになり、その申請受付を速やかに行うことになりました。学生からの要望「学内でのスマホの充電」は速やかに認めました。

この間、4年生の「地域看護学実習」「在宅看護論実習」はオンラインで工夫しながら実施し、1、4年生が高齢者宅を訪問する「予防的家庭訪問実習」と1年生の「初期体験実習」は中止しました。6月15日からは、4年生の「総合看護学実習」を、ご協力いただける35カ所の医療機関で、極力注意しながら開始します。

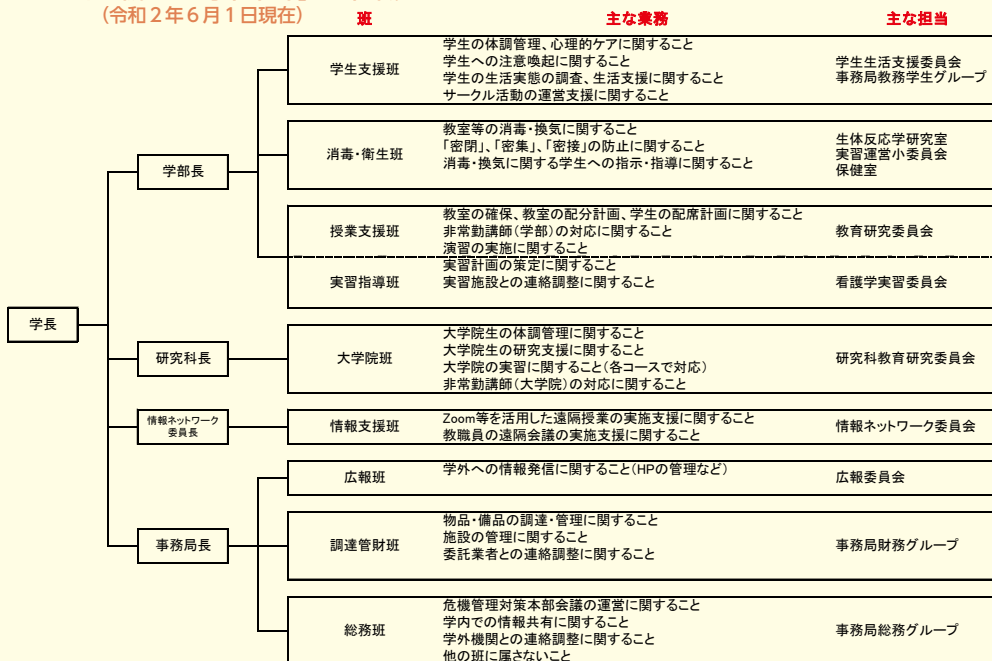
### 4. 授業再開の準備

5月14日に緊急事態宣言の対象地域が縮減され、大分県でも解除されました。6月1日から段階的に対面授業を行うことを、5月20日の教育研究審議会で決定しました。3つの密を避けるために、①対面授業による登校は2学年まで、②一日の中でオンライン授業と対面授業とを混在させな

次ページへ続く

受け入れが難しい施設が出る中、種々の調整の結果、全ての4年生が、実習できる予定です。追加で実習生を引き受けていただける施設の皆様に感謝します。

図1 「危機管理対策本部」の組織図 (令和2年6月1日現在)



食堂の区分け



各部屋に備えた消毒物品



い、③対面授業は登校時の混雑を避けるために2限目から実施する等の原則を立て、教育研究委員会が全部の時間割を組み替えました。

6月1日、入学式以来、初めて登校した1年生は、「大学に来ると一緒に学んでいる人が分かるので安心感があります」と本当に嬉しそうでした。

## 5. 「With COVID-19」の時代に向けて

今回、授業の継続や対面授業の再開をアナウンスした時に、学部生から「大丈夫か」「未だ早いのではないか」と心配するメールをいただきました。学生の心配は、保護者の心配でもあります。質問した学生一人一人に、本学の考えや準備状況を回答すると同時に、全学生と教職員にも知らせました。COVID-19は、未だ未だ気の抜けない状況が続きます。感染予防に気を付けつつ、大学としての日常を取り戻していきたいと思えます。今後とも、ご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

## 1) 今回の経験を、今後の大学運営に活かす

今までできなかったオンライン授業が、COVID-19を契機に実施できています。修士課程NPコースの院生は、医療機関で働く看護師が中心です。県内各地から仕事を終わって本学に駆け付けるので交通事故も心配で、以前からオンライン授業を実施したいと考えていました。目下、研究科教育研究委員会を中心に、次年度以降もオンラインでの実施を希望する科目を調査中です。

今回、本学が速やかにオンライン授業に取り組めたのは、2年前に、学内のインターネット環境を整備していたからです。今回、大変有効だと分かりましたので、新たに、交流棟等のネット環境を整備することにしました。開学後20年経った今、学内を再点検し、必要なインフラ整備を進めたいと思います。

## 2) 次世代に活躍する看護職の育成

今回、予測不能な事態が次々に生じ、なかなか外れなかった規制が緩和されました。今後、リアルとバーチャルの併用、ロボットやアバターの活用も進み、看護職が「寄り添う」方法自体が変わります。Society 5.0の時代に看護を担う学生には、文理横断的な知識や論理的思考力を持つて、自ら改善・改革していく逞しさが求められます。本学は、科学の基盤に立つて柔軟に思考し、変化に適切できる、人間性豊かな看護職の育成に、更に入力したいと思えます。



## アドミッション・オフィスを設置しました

2020年4月1日にアドミッション・オフィスを設置しました。アドミッション・オフィスは、本学が

求める人材、優秀な入学生を継続的に確保することを目的として活動する部門です。少子化の進む現代社会、またこれまで経験したことがない未知なる社会に対応できる看護専門職をしっかりと育成し、社会に貢献できる看護人材を輩出するという本学の使命を果たしたいと考えています。そのためには、高校と大学が連携し、本学が求める「豊かな感性をもち、基礎的学力・思考力を備え、主体的な行動がとれる」という本学のアドミッションポリシーとマッチする方々に入学していただく活動が必要です。

また、今年度から大学入学共通テストという新たな入試制度に改正されます。本学がどのような教育方針のもと、どのように考え、どのような入試を行っているのか、入試制度の変更のこのタイミングにおいて、高校側に丁寧に説明し、ご理解いただくことが求められていると考えます。

そこで、高等学校を退職された先生にアドミッション・オフィスのメンバーの一人としてご就任いただき、高校との強い連携を図りたいと考えています。高校の進路支援状況や高校教諭のお立場や考え方に精通し、本学が高校に対して配慮すべきことなどを客観的に指摘していただくことにより、高等学校の進路指導の先生方

と良好なコミュニケーションのもとで、本学の教育方針や入試状況について情報提供や意見交換ができることを期待しています。

高校との連携を一層強化し、本学の改善改革に勢いをつけていければと思います。

## 看護師・助産師・保健師国家試験 全員合格!

2019年度、本学の看護師・助産師・保健師国家試験受験者は、全員合格することができました。合格した皆さん、おめでとうございます。毎年、合格発表は卒業式後になります。特に今年は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため卒業式が中止となり、国試対策に本気で取り組んでいた卒業生たちに、直接お祝いを伝えることができませんでした。

第109回看護師国家試験は全国で約65,000人が受験し、約58,000

国試対策小委員会

**看護師国家試験問題を解いてみよう!**  
 国試まであと137日(10月3日時点)  
 看護師国家試験日: 2020年2月16日(日)

**問題1** 正中神経の圧迫によって知覚異常を生じる部位はどれか。(第108回看護師国家試験 午前問題)

**答え C**

**問題2** 劇薬の表示で正しいのはどれか。(第106回看護師国家試験 午前問題)

**答え ④**

**問題3** 成人女性に膀胱留置カテーテルが挿入されている場合、体内に留置されている長さで最も適切なのはどれか。(第105回看護師国家試験 午前問題)

**答え ③**

4年生は10月12日(土)テコム第2回模試が21, 22講義室であります

※本学では、このようなポスターを学内に掲示するなどし、国家試験合格に向けて取り組んでいます。

人が合格しました。毎年合格率はほぼ変わらず、受験生の約9割が合格します。9割合格する試験ならば、「受ければ合格する簡単な試験」のようですが、逆に言えば「1割は必ず不合格がでる試験」とも言えます。特に、8割以上正解しないと不合格になる必修問題が導入されており、合格は簡単ではありません。

低学年の時から対策を始めた学生もいますが、多くの学生は、4年生4月の国試対策ガイダンス後、問題集や参考書を購入し、各自で国試対策勉強を始めました。年間9回、業者模試を利用して全国での自分の成績を確認し、繰り返し解きなおすことで力をつけました。所属の研究室の先生方にも、見守っていただきながら、2月中旬の受験日まで各自で勉強を進めました。各学生が本当によく頑張りました。

学生の自主的な学習をサポートし、全員合格を達成するために、本学では3つのことを重点的に支援しました。①学生が学習する環境の確保…卒業研究終了後の国試対策が本格化する冬の時期、学内の演習室等を夜間、休日を含め利用できるよう提供しました。②学生への情報提供…勉強方法や使用する問題集、予想問題等について情報収集し、必要な情報を必要な時期に学生に提供しました。③自分の成績を把握する仕組みづくり…毎回、模試を自己採点することで各学生が自分の力を把握できるようになり、教員も個別に支援が必要な学生をタイムリーに把握できました。

本学を卒業する時は、看護職としてのスタート地点だと考えます。その時に確実に国家資格を手にして新しい道を進んでいけるよう、2020年度も全員合格のために支援を続けていきます。



## 新任教職員のご紹介

### 基礎看護学研究室 教授 廣田 真里



皆様こんにちは。  
4月1日から基礎看護学研究室に着任しました。前職は国立病院機構の看護部長で大学での勤務は初めてになります。COVID-19の影響で例年になく学生不在の中で早々にリモートでの授業・会議が始まりました。“慣れない”と言っている間もなく、教育現場の真ただ中に居ることを感じる今日この頃です。学生さんには看護の奥深さとともに看護する喜びを伝え、共に成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 地域看護学研究室 助教 木嶋 彩乃



4月から地域看護学研究室に着任いたしました。学生のみなさんとの関わりや様々な機会を丁寧に積み重ねて、私自身も成長していきたいです。大分での生活も楽しみなので色々教えていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局教務学生グループ 主査 佐藤 英



4月から事務局教務学生グループに着任しました。前任は、大分県健康づくり支援課で難病対策等の業務を保健師さんとともに行っていました。専門職である保健師さんは、幅広い知識に加え調整力に長けており、とても頼れる存在でした。

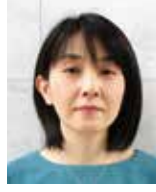
皆さんも目標に向かって頑張ってください。陰ながら応援しています。  
最近は運動不足気味なので、テニスコートや体育館を目の当たりにして「いいなあ」と思いながら通り過ぎていきます。どうぞよろしくお願いいたします。(誘ってください)

### アドミッション・オフィス アドミッション専門員 大久保 和弘



1、より円滑な高大連携を推進する。2、積極的な広報活動により本学の一層のイメージアップに努める。以上2点に尽力することで少しでも大学の発展に寄与できたらと思います。よろしくお願いいたします。

### 事務局総務グループ 主査 松尾 美沙



4月から事務局総務グループに着任しました。理事会や研究倫理・安全委員会の事務などを担当しています。こちらに来る前は県の福祉保健企画課にいました。保健師の方もいて、真摯に業務に取り組まれる姿を見て尊敬しておりました。そのような看護の分野を目指す学生のみなさん、また育てる教職員のみなさんの支援ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 退職教員のご紹介

令和2年3月31日で退職された皆様です。大変お世話になりました。新任地での活躍を祈念いたします。

職名	氏名
教授	伊東 朋子
准教授	川崎 涼子
助教	安部 真紀
助教	吉川 加奈子

## メッセージご紹介



22年間、本学に勤務された伊東朋子先生からメッセージをいただきました。

武蔵野通信 創刊号  
伊東 朋子

払拭しても払拭しきれぬ思い出多い貴学での22年間に後、本年3月定年退職し、4月より吉川加奈子先生と同じく東京医療保健大学立川看護学部へ赴任することになりました。新任地は多摩川中流域武蔵野の台地にありますが、同じ看護を目指す若者とともにまた過ごせる邂逅を感じております。今後、風のひろばの読者の方々と本学の関係者一同が連帯し、ともに医療の一翼を担うことを期待して武蔵野通信の創刊と致します。





優秀賞

野々下 実さん

私は今、先輩看護師の指導のもと、毎日患者さんのケアをしています。私にできることはまだまだ少なく、悔しい思いをすることも多いですが、臨床現場で患者さんから学ぶことはやはり多いと日々実感しています。知識や技術を身につけながら、患者さんが入院中や退院後も安心して過ごせるよう、関わってまいります。

在学中、私は謝恩会委員代表を務めていましたが、新型コロナウイルス感染症により謝恩会を中止せざるを得ませんでした。卒業式も中止となり寂しい3月でしたが、そんな時、先生方から激励の言葉が綴られたメッセージ動画が届き、とても励まされました。

この状況がいつ収束するか分からない中で勉学に励む後輩のみなさんの不安は大きいと思いますが、今できることから少しずつ取り組み、お互い頑張ります。



優秀賞

姫野 ゆりさん

私は今、教育現場で働いています。生徒になかなか会えなかったり、予定していたことが白紙に戻ったりなど学生時代には想像もしていなかった日々を送っています。そんな不測の日々ですが、生徒が安心して登校できる環境を整えるなど充実した毎日です。学生の皆さんも実習や就活など不安があることでしょう。「数年後の自分が胸を張れる時間であるか」学生時代、私が大切にしていたことです。未来の自分が胸を張れる時間を。今だからこそできることを。必ず「あの時、頑張ったよ」と思える日が来ます。皆さんのことを応援しています。



学長賞

鶴留 叶風さん

就職してやがて2ヶ月が経ちます。業務はまだ覚える事が多く、目の前の一つひとつの事に必死な毎日です。しかしそんな中でも大学での経験は私の心の支えになっています。特に実習で患者さんと自分なりに真摯に向き合った事、そこから学ばせていただいた事は今の自分の看護の姿勢の基本になっていると思います。これから様々な課題があると思いますが、4年間を乗り越えたという自信のもと努力を続けたいと思います。



学生賞

吉澤 賢成さん

こんにちは。昨年度本学を卒業しました、吉澤賢成です。コロナウイルスの流行によって、大学生活やプライベート面でもいろいろと大変な時期なのではないかと心配しております。ストレスは溜めずに人それぞれの形で発散してくださいね。普段何気ないことを話したり相談したりできる友達を持つことはとても大切です。現在看護師として働いていますが、改めて感じています。また、新1年生は分からないことが多くあると思います。先生方はみんな優しいです。大学生活の悩みとか勉強のことかなんでもいいです、聞いてみてください。今後同じ道を歩んでいく仲間として、みんな頑張ってください。応援しています。

# 卒業生

# ・ 在学生の声

2019年度  
学生表彰受賞者紹介



卒業研究優秀賞

宮丸 佳子さん

私は、昨年度卒業し、現在大分市内の病院で働いています。COVID-19が流行し、研修が短縮されたりなくなったりと大変ですが、学生時代に培ってきた知識や実習で経験したことが今、実際に生かしていると思うことが多々あります。実習や課題は大変だと思いますが、必ず現場で力となるので頑張ってください。実習がなくなり不安等あると思いますが、皆さんのやってきたことが実るよう応援しています！ぜひ素敵なナースになってください。



奨励賞 (3年次生)

後藤 暖乃さん

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たち学生は自宅でオンライン授業を受けています。オンライン授業には慣れてきましたが、テストや実習はどうなるのかなど不安なこともまだまだあります。大学で講義をうけ、友人とたわいもない会話をしていた当たり前の日々がとても充実した時間だったんだと感じています。少しでも早く当たり前の日常を取り戻すために外出自粛や手洗いうがいなど自分ができることを行ってまいります。

今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、卒業生・在学生達は不安定な状況の中、新年度をスタートし、それぞれの環境で頑張っています。2019年度に学生表彰を受賞された皆さんに、今の状況やそれぞれの思いを自由に語っていただきました。



奨励賞 (3年次生)

渡部望雄磨さん

今回は奨励賞という素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思っています。僕が入学した時は、女子生徒の多さに多少不安を覚えました。しかし、現在では同じ学年のみんなや少ない男子で、忙しい生活の中楽しく過ごしています。最近僕は昼休みや空き時間に行うキャッチボールにハマっているため、早く元の生活に戻りまた友達としたいと感じています。この大学はとてもお勧めです。大学生活はあっという間のため、最高の思い出を作れるように日々を大切にしていきたいです。



奨励賞 (2年次生)

高田 祐莉さん

2年次への進級にあたり、奨励賞を頂けたことをとても光栄に思います。この大学に入学し、自分の学力や知識の浅さに引け目を感じることがありました。しかし、様々な場面で友人や先輩方に助けをもらい、今では充実した大学生活を送ることができています。特に、実習中の友人の存在は、自分自身を奮起させてくれる存在でもありました。現在、新型コロナウイルスの影響で、オンライン授業という非日常の日々が続いていると思いますが、また大学に行くことを楽しみにしています。



奨励賞 (2年次生)

奥山紗久来さん

この度、このような賞を頂きありがとうございます。私が大変嬉しいのかと、とても驚くことも大変嬉しく思っています。大学に入学して想像以上に勉強面などで大変なことも多く辛い時もありましたが、ここまで何とか乗り越えてこられたのは先生方のご指導や周りにいる友達のあたたかさ、家族の支えのおかげだと思っています。これから、将来立派な看護師者になれるように努力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



奨励賞 (3年次生)

清田 和さん

今年で、大学生活の半分が過ぎました。今までの2年間は、とても充実したものでした。楽しいことだけでなく、実習や難しい科目の勉強はきつかったこともありました。しかし、テスト前に一緒に勉強してくれる友達、理解するまで教えてくれる先生方のおかげで有意義な大学生活を送ることができています。今年、秋に3ヶ月実習がありますが、学内で学んだ専門的な知識や技術を臨床の場で実践できるように頑張りたいと思います。

## 患者情報の取り扱い事故の分析と事故防止のための教育教材の作成

看護師の取り扱い「情報」の大部分は、患者さんにとって他人には知られたくない個人情報です。しかし、「患者情報を保存していたUSBメモリが所在不明になった」「院外に無断で持ち出し紛失した」といった不適切な取り扱い事故が数多く発生しています。このような事故を減らすには、まずは、実際に看護師が起こした患者情報の取り扱い事故の現状を知ることが必要です。

過去に起きた事故について新聞やインターネットニュースで報道された記事を分析したところ、看護師が起こしやすい主な事故は、「院内でUSBメモリを紛失した」「許可なく患者情報を持ち出し紛失した」「書類を違う患者に渡した」「業務に関係ない電子カルテを閲覧した」といったものであることがわかりました。また、事故の中には、「SNSへ患者に関する不適切な投稿をした」ものもありました。

このような事故を防ぐには、現場のルールをより厳しくしたり、技術的な対策を行ったりすることが必要になります。私は、学生さんや現場の看護師さんに対する情報倫理教育が重要であると考えています。実際に現場で起きていることを知り、それを踏まえた教育を行うことで、事故につながる行動に「気づかない」という状況から、「これ危ない！」と事前に気づけるように

なると考えています。すでに教育用の教材として、研究室の学生さんと事故事例集の作成を行いました。また、医療現場で起きていることを知るだけでなく、すでに多くの学生さんが高校までに情報モラル教育を受けていることから、大学で行うべき情報倫理教育は、高校までに学んだ情報モラル教育との連続性を持つことも重要だと考えています。そこで、現在は、「高校までの連続性」「現場への連動性」を考慮した看護情報倫理の教育モデルの開発を行っているところです。

最後に、今年『看護技術(メヂカルフレンド社)』という雑誌に「看護師が注意すべき患者の個人情報取り扱い」というテーマで連載(1月・12月号)を行っています。事故事例を紹介し、その問題点と事故防止のためのポイントについて解説をしています。3月に定年退職された伊東朋子先生(現東京医療保健大学)と一緒に執筆していますので、機会があればぜひご覧ください。



健康情報科学研究室 准教授  
品川 佳満

## Research introduction

# 研究紹介



## 科学的根拠に基づく早期新生児期の保清方法のあり方に関する研究

人体最大の臓器である皮膚は、生命維持に不可欠な多彩な機能を持っています。その中でも特に重要なのが皮膚バリア機能です。近年の研究で、乾燥や湿疹など皮膚バリア機能の低下した皮膚からのアレルギーの経皮感作(曝露)が、食物アレルギーやアレルギー疾患の発症に関与していることが明らかになってきました。また、皮膚疾患によって引き起こされる不快な症状や外見の変化は、新生児の身体的問題にとどまらず、母親の育児ストレスや育児不安の増大、自己効力感低下など様々な問題が生じることも明らかになっています。

これらのことより、新生児の皮膚バリア機能を良好に保つ保清方法は何かを明らかにし、科学的根拠に基づく最適な保清方法を確立することが、母親の心身の健康とQOLの向上に重要であるといえます。

しかし、日本では古来から新生児を産湯(沐浴)に入れる慣習があり、これまで皮膚に適した保清方法に関する科学的な検証が十分されていませんでした。2016年に実施した全国の分娩施設に対する調査では、入院中の新生児の保清方法に統一見解はなく、どのような保清方法を選択するかは施設に委ねられている現状が明らかになりました。

そこで、まずスキンプロテクトインゲ法を用いた早期新生児の皮膚評価指標の開発を試みました。その結果、炎症性サイトカインのIL-6とTNF- $\alpha$

の検出によって、新生児の皮膚状態の評価が可能であり、新たなスキンアセスメント技術となり得ることが示唆されました。

この技術のほかに、経皮水分蒸散量やpHなどの皮膚バリア機能や皮膚所見を評価項目に加えて、生後5日間の間、沐浴した場合と沐浴しない(ドライテックニック)場合のどちらの方が早期新生児の皮膚の健全性維持に適しているのかを検討しました。その結果、皮膚バリア機能は沐浴をしない(ドライテックニック)方が沐浴するよりも良好でした。また、沐浴をしない(ドライテックニック)方が外部刺激や炎症により誘導される炎症性サイトカインの発現も少ないことから、生後5日までは沐浴よりも沐浴をしない(ドライテックニック)方が皮膚の健全性を維持する保清方法である可能性があります。

今後は、早期新生児期の保清方法が将来の皮膚トラブルやアレルギーの発症にどのような影響を及ぼすのか、長期的な追跡研究を行い、保清ケアの有効性を検証していくことが課題であると考えています。



助産学研究室 准教授  
樋口 幸



## 大分県立看護科学大学 未来応援基金

### 寄付をいただいた皆様へ

この度は、「未来応援基金」にご賛同いただきありがとうございました。皆様の温かいお心遣いに感謝申し上げます。

皆様からの貴重な寄付金は、学生の学業の継続や、地域連携の更なる充実、国際化・グローバル化への対応等、学生・大学院生の活動を支援するため、大切にさせていただきます。

今後とも本学への応援をよろしく申し上げます。

### 令和元年度寄付金額

個人・団体総合計 514,000円  
※平成30年度からの累計額：3,771,000円

### 寄付者のご紹介

2020年3月末までにご寄付をいただいた方で、掲載に同意をいただいた方を掲載しています。掲載については、五十音順とさせていただきます。

#### ■ 個人(9名)

伊東 朋子 様  
稲垣 敦 様

※お名前のご掲載に不同意とされた方 7名

#### ■ 法人・団体等(1名)

大分県勤労者医療生活協同組合 様

## 看科大 [16号] クイズ・プレゼント

**問題** 2019年度、本学の看護師・助産師・保健師国家試験の合格率は、( )%

( )の中に正しい数字を入れ、下記のとおりはがきでご応募いただくか、クイズの答えなど1~5までを記載して、メール (koho@oita-nhs.ac.jp) でご応募ください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(2,000円分)をプレゼントします。

<p>〒870-1201 大分県大分市大字廻樎野2944-9</p> <p>大分県立看護科学大学 事務局 行</p>	<p>1. クイズの答え 2. 郵便番号 3. 住所 4. 氏名(年齢) 5. 記事のご感想や 本学へのご意見</p>
--	---

**【締め切り】令和2年8月31日** 当日消印有効  
当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## 看護ひとくち メモ



### 夏場のマスク、熱中症に注意！ こまめに水分補給をして予防しよう！

「新しい生活様式」では、症状がなくてもマスクを着用するよう求められています。今年の夏は全国的に平年より気温が高くなり、新型コロナウイルスの感染対策としてマスクを着用することで熱中症のリスクが高まっています。

#### ★マスクで熱中症リスクが上がる原因は？

- ・顔から首表面が覆われることで体温が上がりやすくなる。
  - ・口元に湿気が溜まり喉の渇きを感じにくくなる。
- そのため熱が体にこもり、気づかないうちに脱水症状を起こす恐れがあります。

#### ★マスクを付けてコロナと熱中症を同時に予防する方法としては

- ①3食をきちんと食べる。
- ②「のどが渇いたな」と感じ始めたら水分摂取(多量のカフェイン摂取を控える。)
- ③経口補水液を家族1人2本×3日分常備しておく。
- ④クーラーをすぐつけられるよう調整し、暑いと感じる場所にいない。
- ⑤換気をこまめにし、湿度も高くないよう注意(環境省ウェブサイトで毎日発表される「暑さ指数」もチェック)
- ⑥快適な環境でよく睡眠をとる。(疲労も熱中症リスク)
- ⑦人混みを避けた散歩や、室内での軽い運動を行う。

マスクを付けていると、首や顔の表面温度が上がりやすく、呼吸により負荷がかかるので、労作時の体温が上がる可能性があります。そのため、首を冷やしたり、とどきマスクをとって熱を逃がすようにしましょう。スポーツ庁は、マスクをしていつも通りの運動をすると負荷やきつさが上がるがあるとして、運動速度を落とすなどの調整をするよう求めています。

マスクを付けながら暑さを上手に乗り切るためには、いつも以上に「こまめに水分補給」をして熱中症を予防していきましょう！

## Schedule [スケジュール]

<p>8月 22日(土) 26日(水)・27日(木)</p>	<p>大学院入学試験 大学院研究中間報告会、大学院研究計画報告会、論文レビュー報告会</p>
<p>9月 5日(土) 4日(金)~ 11月27日(金)</p>	<p>夏期休業終了 老年・成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 小児、母性、精神看護学実習</p>
<p>10月 31日(土)</p>	<p>第22回看護国際フォーラム(Web)</p>
<p>11月 23日(月・祝)</p>	<p>学校推薦型選抜試験および 社会人選抜試験</p>
<p>12月 2日(水)~3日(木) 7日(月)~21日(月) 24日(木)</p>	<p>卒業研究発表会 看護アセスメント学実習 冬期休業開始</p>

※スケジュールは、変更になる場合があります。

